

工業つ子

NO. 026

発行日

2008. 08. 09

編集

長崎工業高校新聞部

発行

長崎工業高校新聞部

技術の真髄へ、 また一步!

ものづくり自動車整備 全国進出

『青い空は、青いままで』

小学校入学以来、この方『八月九日』は毎年登校日で私達は平和学習を受けてきています。が、あらためてもう一度平和と戦争について考えてみました。

そのきっかけの一つは六月二十九日七月六日に西洋館で開かれた「原爆と戦争展」。昼食をとっていた時にボスターを見て何気なく行ってみたら展示会です。そこには被爆体験者の体験談のパネル展示をはじめ写真や新聞など勉強になるものがいろいろとありました。

瞳孔よ縮まれえええ!



▲君はどこの調子が悪いんだい?

ネジよしまれえええ!

SAGAへ...

こんにちは! パソコンの前より海に行きたい! スタートアップ新聞部です★

長工生が活躍した「高校生ものづくりコンテスト」長崎県大会、九州大会ともに、取材に行ってきました。

七月六日、まるで梅雨明けしたかのような晴天。太陽照りつける夏空の下、第七回高校生ものづくりコンテスト九州大会が開催されました。今回の開催地は佐賀県。佐賀県立産業技術学院で「自動車整備」「電気工事」「回路組立」「旋盤」の五部門が行われ、

体験談の展示では戦争中の悲惨な出来事やその時の気持ちや考え、そして今でも苦しんでいるということが分かります。これからの残酷なことを繰り返さないためにも私達がこれからのどうするべきなのかと深く考えさせられました。

また原爆資料館にはない当時の人達が実際に使っていたボロボロの教科書や鉄のヘルメット、「欲しがりますが、勝つまでは。」の写真をそこに置かれていただけの品物が現実感と強いインパクトをもって迫ってきた。

もう一つのきっかけは今年の八月九日、休日ということに登校日が無い学校があることを知ったことです。皆さんは知っていましたか? 毎年蒸し暑い体育館の中などで十一時二分の鐘と同時に黙祷を捧げるのが長崎では当たり前のことだ。私は、そのことを聞いたとき、今後原爆の恐ろしさや忘れ去られてしまうのではないだろうかかと不安になりました。

そうして思ったのが学ぶことも大切ですが、これか

門が行われ、「化学分析」は佐賀大学でそして佐賀工業で「測量」が行われ、本校出場部門では「化学分析」だけが会場が離れたため、取材に行くことができませんでした。

会場の産業技術学院は広い敷地に大学のような建物が並ぶ。ガラス張りの壁に映った青い空が印象的でした。

電子回路部門以外は開放され、端々に扇風機があるだけで見ても汗が流れる暑さ。しかしそんな中でも集中力を絶やすことなく作業を続ける選手たち。まさに技術者魂!でした。

課題。谷川君、難なくこなした次の課題Ⅱへ。始める前帽子を深くかぶり精神統一する谷川君。確実に課題をこなしていました。

最後は「課題Ⅲ車軸取扱点検作業」ドーンと置かれた一台の車。タイヤを外しデスクパットの厚みの点検。まるで実際の車検のよう! 終了後谷川君に出来を聞いてみると、「ほっとしてよかったよ」とミスしてしまっただけで安堵の表情でした。

た。各会場は屋内と言えど、電子回路部門以外は開放され、端々に扇風機があるだけで見ても汗が流れる暑さ。しかしそんな中でも集中力を絶やすことなく作業を続ける選手たち。まさに技術者魂!でした。

結果は見事最優秀賞! P3の谷川君、まさにパーフェクトのPでした!

静かなる闘争心!
二位 電子回路組立部門

冷房に大きな扇風機も設置の電子回路の会場。しかし、聞こえるのはその作動音のみ! 最も緊迫した空気の会場でした。

D3七條君は電気スタンドを唯一人持参。先生曰く「瞳孔を縮めて細かい作業ができるように。」だそうです。競技への熱い姿勢があらわれていました。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

私達若い世代が戦争と平和について学び、十分に理解し、戦争の悲劇を繰り返さないよう後世に正しく伝えていくことが一番重要だ。『八月九日』は原爆の恐ろしさや被爆者の思いを伝える大切な機会。この日にみんなで黙祷することから始まると思います。原爆を歌った『夾竹桃』は今も私の心に残っています。

今後の平和を担っていくのは私達です。そう思うと重大な責任を感じます。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

▼七條君にインタビュー!
Q あなたにとって「ものづくり」とは?
A 楽しいこと。
Q 今後の意気込みを!
A 次は人に文句を言われなようなものを作りたい! この経験を将来に生かしていってほしいね!

織細! 集中!
二位 電気工事部門

電気工事にはE2松本君が会場! だいぶ狭い感じの競技スペース。扇風機があつたもののほとんど意味をなさず。選手も応援者も汗だくでした。

背丈を越える大きな板に課題の配線をしていくこの競技。同じ課題でも、選手一人一人作業の進め方が違いました。

順調に線引きを終え、取り付けにかかる松本君。途中で、完成度の高さを求めてかパイプを付け直すところも。その後はさらに集中。最後の最後まで丁寧に点検していました。

講評でも「綺麗にできている」との評価も。しかし、結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

夏休みが始まりました! 毎年夏休みが楽しみですが、今年は「夏休みなんくるな」と! 生まれて初めて思いました。夏休みが始まってもう五日が過ぎようとしています。初めてこの真実を今知り脱力感が漂っています。この五日間、勉強・課題研究に追われ夏休み中だということを危うく忘れるところでした。危ない!。

私は、夏休み中に二つのオーブンキヤンパスに行く予定です。片方は地元なので問題ないのですが、もう一つは北九州のために道に迷わないかどうか不安です。ついて興味があるのでそのことや学生の皆さんに寮などの体験などを聞けたらいいなと思っています。私の進路も人並みに決まっています。後もう少

誤差を許さぬ
厳しい世界!
木材加工部門

のこぎり、かなづち、のみを使う音が鳴り響いた木材加工。A3の熊君が出場しました。風通しがよい分電気工事は暑くありませんでしたが、それでも汗がダラダラ垂れ落ちてくる暑さ。

課題は「小屋組」と言う屋根の先端部にあたる部分の組み立てです。競技開始後先生に話を聞いてみると「練習通りの寸法が出た。」とのこと。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

して完璧に決まるのですが、このあと少しがなかなか決まりません。

この時期三年生は魔の三者面談。現実を引き戻されとてもシビアな面談を体験した人もたくさんいるのではないのでしょうか? 私もその一人で、解決の糸口が見える見込みがありません。が、親との意見が交わらない場となったと思います。これを機会に自分の意見を親に伝える場面が多くなったと思います。三者面談をして、もっと強くなりたいなと実感しました。皆さんも自分の意志をしっかりもって頑張ってください。

夏休み、一年生は今までの勉強の基礎固めができる時期です。二年生は少し怠けたいと思う気持ちがあると思いますが、自分自身に課したい方が後々楽になるので今が頑張りどきです。三年生は最後の夏休みです。することはたくさんあると思いますが、何もかも最高の夏休みになるように過ごしたいですね。

結果は準優勝。一見したところ松本君の優勝が間違いないと思えたのですが、残念!。ものづくりの世界もなかなか厳しいものです。

